

昭和四十九年五月三十一日発行

玉藻

第十号

玉藻 第十号 目次

形容詞「悪い」の消滅について……………	小池清治……………	1
蜃気楼の世界……………	熊谷啓子……………	20
草根集歌枕地名索引稿……………	小泉和……………	27
万葉集の涙……………	糸川光樹……………	53
彙報……………		61
昭和四十八年度卒業論文題目 受贈図書		

紀要 第6号

ノートルダム清心女子大学国文学科

国文研究 第6号

静岡女子大学国語国文学会

文芸研究 第26号、第29号

明治大学文学部文芸研究会

甲南国文 第20号 甲南女子大学国文学会

論究 日本文学 第36号

立命館大学日本文学会

文学部紀要 第2号 愛知学院大学文学会

語文論叢 第2号

千葉大学文学部国語国文学会

論集 第20巻・1号・2号

神戸女学院大学研究所

帯広大谷短期大学紀要 第10号

帯広大谷短期大学

同志社国文学 第9号

同志社大学国文学会

東海大学紀要 第19号・第20号 東海大学

高知大文 第4号

高知大学国語国文学会

国語国文学 第9号

東京学芸大学国語国文学会

語学文学研究 第4号

金沢大学教育学部国語国文学会

成城国文学論集 第6輯

成城大学大学院文学研究科

たまゆら 第5号

比治山女子短期大学国文学会

国文学会誌 第17号 新潟大学国文学会

国文学ノート 第12号

成城大学短期大学部国文学研究室

□ 編集後記 □

「玉藻」も十号に達した。発行が予定より数カ月も遅れたことをお詫びする。新担当者の私も一篇を献じなければ、と覚悟のほどはよかったのだが、思うようにはかどらず、他の執筆者にご迷惑をかけてしまった。そのかわり新卒業生の、できたての卒論を載せることができた。熊谷さんの「蜃気楼の世界」がそれで、本誌掲載用に短かくまとめてもらったが、龍之介論として新しい視点を提供していると思う。小池助教の論文は、厳密な考証作業である

が、ことばの運命、とてもいへべき感慨を読者に呼びさますようである。小泉教授の索引は、今回は「か」から「こ」までだが、完成の暁には学界に寄与するところ大であろう。そういえば今号の筆者もみな「か」から「こ」までだが、これはもちろん偶然のいたずらにすぎない。(乗川)

玉藻 第十号

昭和四十九年五月二十五日 印刷

昭和四十九年五月三十一日 発行

フェリス学院大学国文学会

編集兼 代表者 遠 藤 祐

印刷所 有限会社 ニハシ印刷

印刷人 二 橋 清

発行所 横浜市中区山手町三七

フェリス学院大学

国 文 学 会